漁村に新たな風を！集落再生プロジェクト

【海南市冷水】株式会社いとうともひさ

地域づくりに取り組む人や団体と、和歌山に関わりたい人をつなぐ〝わかやまFUNBASE〟。今回紹介する〝株式会社いとうともひさ〟は、建築設計や空間デザイン、リノベーションを主軸に事業を展開している。代表のいとうともひさんは海南市冷水浦を拠点に、空き家の再生や建築を通じて集落再生に取り組んでいる。

大阪府出身のいとうさんは、大工修行を経て独立。東日本大震災の被災地など各地で大工仕事に携わる〝旅する大工〟として活動してきた。旅の中で出会った冷水浦は、海と山に囲まれ、細い路地が入り組む昔ながらの漁村集落。もともと漁村の空間構成に興味があったいとうさんはこの地に惹かれ2017年に移住。〝Re SHIMIZU-URA PROJECT〟を立ち上げた。

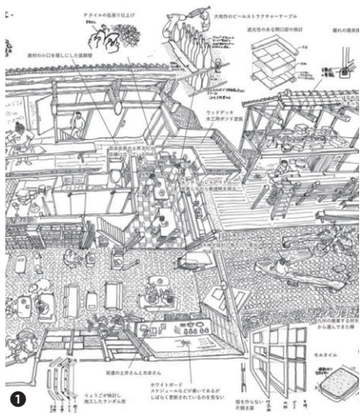
2022年、集落内では約30年ぶりとなる新たな飲食店〝チャイとコーヒーとクラフトビール〟をオープン。地元の漁師が常連となり、祭りの会合にも使われるなど、今では地域内外の人が集う交流拠点となっている。プロジェクトでは、毎年1軒ずつ新たな店を増やし現在は5軒、今後も人々が行き交う集落を目指す。

またいとうさんは同集落の空き家改修を通して、建築や地域との関わりを体験するプログラムを提供している。今回参加したのは、大和大学で建築を学ぶ南野葵衣さん。「体験を通していろいろな人に出会えるのが魅力。刺激をもらえます」と話す。

「楽しい体験だけで終わらず、学生たちの評価も踏まえながら、地域内外の幅広い世代の人々を巻き込み、一緒に地域をつくるという意気込みでやっていきたい」というとうさん。地域の未来を見据え、新たな人を迎え入れる活動を続けていく。



飲食店〝チャイとコーヒーとクラフトビール〟で語り合いうさん（右）と南野さん（左）。世代を超えた交流から、新たなつながりが生まれる。







❶集落再生の計画を説明するパース。❷冷水浦の集落を再現した模型。建築の展覧会「SDレビュー2023」で朝倉賞を受賞した。❶❷どちらも〝チャイとコーヒーとクラフトビール〟2階で見ることができる。❸いとうさんが手がけたお好み焼き店。集落の人たちが集まり、楽しい時間を共有する。

海と路地が織りなす、冷水浦ならではの風景







❶冷水浦駅からほど近い場所にある集落。車も入れないほどの細い路地を進むと店が現れる。❷昔ながらの家々が並ぶ路地の先にある飲食店〝チャイとコーヒーとクラフトビール〟。❸海辺ならではの開放的な景色も魅力の冷水浦。

株式会社いとうともひさ
住所／和歌山県海南市冷水354　電話／073-482-6222

わかやま FUNBASE

2026年に始まった和歌山の新たな取り組み〝わかやまFUNBASE〟。人や地域の魅力を発信し、交流できる楽しい（FUN）拠点（BASE）になるように、本プラットフォームを通じて、わかやまファン（愛好家）創出をめざします。

わかやまFUNBASEはこちら